

MLA48

MLA48 プロジェクト

NEWS
LETTER

2013年5月29日

No.11

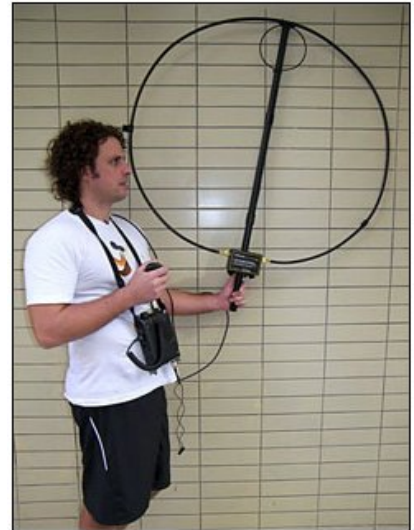
PY1AHD の Alexloop

PY1AHD, Alexandre Grimberg は、6.95 MHz~29.7 MHzでQRVできる小型・軽量のMLA製品を販売しています。

(<http://www.alexloop.com/>)

同社 Web の資料によれば、” Alexloop SML 7-30” は、分解して持ち運びできる寸法に収納できる ” AlexLoop Walkham Small Magnetic Loop” タイプもあります (各写真は Web より引用)。

AM/FM は 10W, SSB は 20W までという仕様で、インピーダンス変換用の結合ループは上部にあります。これは、チューニング用のコントロール・ボックスを手元に置くためですが、中には高電圧がかかるバリコン (可変コンデンサ) があるため、ケースでカバーされています。QRP 仕様なので、手で持ったり (写真) バックパッカーのリュックに差し込んで QSO している運用事例もあります。



同社の Web には MLA の歴史的写真もアップされており、つぎの2つは、左がバルカン戦争 (1942年、正しくは 1912年か?), 右が英国軍で試験 (1937年11月) された Army Loop の原形と思われます。

これまでの調査では、MLA が実験・研究されたのは 1957年頃からで、ベトナム戦争 (1960~75年) でも使われたといわれている Army Loop と呼ばれた軍仕様の MLA が確認されていました。しかし、これらの写真は 1910 (40?) 年代、1930年代なので、MLA の原形はこの頃まで、さらに遡る必要があるようです。それにしても、身につけての運用は、送信電力が気になります。



* 同社 Web の “The Coke-Loop” は必見か…?

(DE JG1UNE)

